



広島市中区医師会会報

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号大手町平和ビル2階 TEL (082) 504-6681 FAX (082) 504-6685
ホームページ <http://nakaku.city.hiroshima.med.or.jp> 編集責任者 広島市中区医師会会長 田邊 徹行

■ 第85回中区医師会学術講演会報告

日時：2021年2月26日(金) 19:15~20:30

開催形式：WEB配信(ZOOM)

視聴者：79名

講演：「感染症 ～コロナウィルス感染症および結核について～」

講師：吉島病院 呼吸器センター センター長 池上 靖彦 先生

2020年12月末の広島市での新型コロナウイルス感染症患者の発生は、会食とカラオケのクラスターから、家族内発症、さらには施設、病院などに波及をしており、今後もワクチン接種が進んでくるまでは、マスクを外しての会話を避けていただくことが重要である。病態は感染とその後の肺炎期、炎症期に分けて考える必要があり、それぞれのフェーズに対応して治療を考えていく必要がある。



■ 第11回医学情報および医業経営講演会報告

日時：2021年3月12日(金) 19:15~20:30

開催形式：①会場参加(広島市文化交流会館)

②WEB配信(ZOOM)

視聴者：60名

講演：「個別指導対策セミナー

印象のいいカルテ記載と信頼される病名運用のポイント

～個別指導に役立つカルテ記載・整備術～」

講師：PHCメディコムネットワークス株式会社

営業戦略本部 戦略企画部 トレーニング課 中島 啓 氏

中島氏より、カルテ記載にあたって減点されないための記載方法について講演頂いた。記載にあたってチェックされるポイント、処方薬と病名付けの関連、あいまいな病名使用への注意喚起、またこれらに注意することで査定・返戻の回避が可能であることの説明がされた。

算定する診療報酬について、カルテへの記載が要件となっている項目、具体的には指導内容や診療計画の記載が必要なものがあり、これらに留意することが個別指導対策、レセプトへの信頼性アップに寄与する。レセプトとカルテ記載内容の整合性が保たれていることが重要である。



■ 吉島圏域多職種連携会議報告

日時：2021年3月19日(金) 19:00~20:00

開催形式：WEB会議(ZOOM)

視聴者：56名

講演：「全集中！ 新型コロナ感染症対策 多職種連携【吉島モデル】」

講師：医療法人和平会 折口医院 院長 高橋 浩一 先生

吉島圏域では「在宅療養者における新型コロナウイルス感染症対策」を、自ら行動計画を想定・策定しておく必要があると考え、ZOOMを用い、多職種間で活発な意見交換がされました。